

# 防災研究所公開講演会 4A

- 日 時：10月25日(土) 10:00～12:00
- 会 場：宇治おうばくプラザ1階 きはだホール
- 定 員：300名

## ■プログラム

### 世界の安全を守る建築防災工学

#### 10:00～10:45 「シンガポールで建物をどう作るか?」

清水建設株式会社 建築事業本部 生産技術本部 印 藤 正 裕 氏

**講演要旨：**海外で建物を作るということは国内で作るのとは違った様々な困難さがあります。本講演では、まずシンガポールの国の成り立ち、国情とそれに関わる建設行政の実態を解説いただき、そこにおける建設マネジメントの違い、日本企業の優位性と弱点、現地で適用した各種工法の紹介などをさせていただきます。特にチャンギ空港の第3ターミナル建設工事の事例を中心に、その全長215mの巨大鉄骨トラスや特殊な機能を持つ屋根/天井の作り方について、行った者にしかわからないエピソードも交えて楽しく解説します。

#### 10:45～11:30 「ミャンマーの防災教育とその課題」

NGO SEEDS ASIA ミャンマーオフィス 鹿 田 光 子 氏



**講演要旨：**2008年の巨大サイクロン・ナルギスの襲来によって、甚大な被害を受けたミャンマー。当時の状況と復興のプロセスを「防災リテラシー」に焦点を当てて紹介し、公共インフラの不整備、基礎教育の不足、情報開示の進まない当該国において、「届かない」情報をどのように伝えるか、神戸発のNGOが当該国で展開する防災教育の工夫に迫ります。

#### 11:30～12:00 「海外組若手教員が語る」

京都大学防災研究所 准教授 西 嶋 一 欽・助教 倉 田 真 宏

**講演要旨：**本講演では、スイス連邦工科大学、ジョージア工科大学で博士号を取得した若手教員二人が、海外での建築工学教育とその実務へのつながりを、それぞれの経験を踏まえつつ対談し、日米欧それぞれの防災・減災に関するアプローチを紹介、比較します。

